

ESD 授業デザイン2008

ESD学校教育研究会

年報 ESD授業デザイン2008の発刊しました。

内容はESDを授業や学校づくりの生かすもので、多文化理解、歴史、福祉などの今までESDとしてとりあげなかった授業実践例を収録し、また、08年のESD学校教育研究会の公開研究会の活動報告があり、ESDはもとより、学校教育だけでなく持続可能な社会づくりに寄与するものとなっております。

ご覧頂きお役に立てれば幸いです。今後もよろしくおねがいします。

◆総論

「教材にいのちを吹きこみドラマが生まれる」

東海学園大学人文学部 教員 浅川和也 (ESD 学校教育研究会 代表)

◆授業実践

「小学校外国語活動での多文化理解」

豊田市立小清水小学校 教諭 浮洲京子

参考 文部科学省 「学習指導要領」第4章 外国語活動 (抜粋)

「長く続いた戦争と人々の暮らし」の実践 引き揚げの苦難」

名古屋市立常磐小学校 牧 宏

参考「世界の子どもたちのための平和と非暴力の文化国際10年」

◆地域実践

「地域ぐるみで展開した認知症理解プログラムと協働」

さいたま市社会福祉協議会 大橋太郎

参考「福祉教育・ボランティア学習の実践とESD持続可能な開発のための教育の実践」

◆研究会報告

「ESD 授業デザイン2008 -ESD 学校教育研究会の活動-」

持続可能な開発のための教育の10年さいたま代表 長岡素彦(ESD 学校教育研究会会員)

*現在は郵送のご要望には対応しておりませんので、当研究会のフォーラムやESDのイベントで頒布(有償)でおねがいします。

年報 ESD授業デザイン2007

編集 ESD学校教育研究会事務局 発行 ESD学校教育研究会 発行日 2009年10月31日

連絡先 ESD学校教育研究会事務局

350-1174 埼玉県川越市かすみ野2-8-4 持続可能な開発のための教育の10年さいたま内

info-lab@cyber.email.ne.jp

掲載の内容の無断転用、無断複写はこれを禁ずるとともに、行った場合は、違法行為として対応致します。